

2. 水環境

工場・事業場からの排水や私たちの暮らしの中から出る生活排水などによって、河川、海などが汚されることを水質汚濁といいます。

舞鶴湾の水質汚濁の原因は、工場排水や自然由来のものもありますが、約 5 割は生活排水によるものといわれており、川や海をきれいにするためには私たち一人ひとりの生活排水の汚れを減らす取り組みが必要です。

市内を流れる河川のうち、3つの水域（由良川下流、伊佐津川、河辺川）に環境基準が設定されており、京都府と国土交通省が毎月水質の測定を行っています。本市では、これら3河川以外の主な河川についても年4回水質の測定を行い、河川の汚染状況を把握しています。

舞鶴湾は、水域を湾奥部の舞鶴湾(1)と湾口部の舞鶴湾(2)に分けて環境基準が設定されており、京都府が水質の測定を行っています。

生活環境の保全に関する環境基準（河川）

水域名	環境基準 地点名	指定 類型	水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
由良川 下流	由良川橋	A	6.5 以上 8.5 以下	2mg/ℓ 以下	25mg/ℓ 以下	7.5mg/ℓ 以上	1,000MPN/ 100ml 以下
伊佐津川	相生橋	A					
河辺川	第一河辺 川橋	A					

水生生物の保全に関する環境基準（河川）

水域名	環境基準 地点名	指定 類型	全亜鉛
由良川 下流	由良川橋	生物B	0.03mg/l 以下

生活環境の保全に関する環境基準（海域）

[illegible]

※指定類型： 河川、湖沼、海域の環境基準は、水の利用目的に応じて定められており、その利水目的に適した水域を区分し類型を指定しています。

※水素イオン濃度（pH）： 溶液中の水素イオン濃度をいい、 $\text{pH}=7$ で中性、 $\text{pH}<7$ で酸性、 $\text{pH}>7$ でアルカリ性であり、特殊な例（温泉等）を除いて河川水等の表流水は中性付近のpHを示します。

※生物化学的酸素要求量（BOD）： 水中の有機物が微生物によって無機化あるいはガス化されるときに必要なとされる酸素量のこと、この数値が大きいほど水中に有機物質が多いことを示します。川における有機汚濁の代表的な指標として用いられています。

※浮遊物質（SS）： 水中に浮遊している物質の量をいい、一定量の水をろ紙でこし、乾燥してその重量をはかります。この数値が大きいほど水質が汚濁していることを示します。

※溶存酸素量（DO）： 水中に溶けている酸素量のことをいい、水の自浄作用や水中の生物にとって必要不可欠のものです。溶解量を左右するのは水温、気圧、塩分等で、汚染度の高い水中では消費される酸素の量が多いので溶存する酸素量は少なくなります。きれいな水ほど酸素は多く含まれます。

※大腸菌群数： 乳糖を分解して酸とガスを生成する細菌群の総称であり、真性の大腸菌以外に数種の菌を含んでいます。大腸菌群が水中において検出されるということは、その水が人畜のし尿等により汚染されていることや病原細菌が存在している可能性があることを示します。

※全亜鉛： 水中に存在するいろいろな形態の亜鉛化合物に含まれる亜鉛の総量を表します。水中の亜鉛濃度の増大により水生生物等生態系への影響が懸念されます。

※化学的酸素要求量（COD）： 水中の有機物質などが酸化剤で酸化されるときに消費される酸素量のこと、この数値が大きいほど水中に有機物質等が多いことを示します。海における有機汚濁の代表的な指標として用いられています。

※全窒素・全リン： 水中に存在するいろいろな形態の窒素化合物、リン化合物に含まれる窒素、リンの総量を表します。水中の窒素、リン濃度の増大は、水域の富栄養化をもたらします。

※n-ヘキサン抽出物質： 鉱物油、動植物油等の油分の量を表します。ノルマルヘキサンという溶剤によって抽出される物質であり、石鹸や染料、界面活性剤等が該当します。油分には分解性の低い物質が多く含まれるため、生態系に悪影響を与えます。

河川・舞鶴湾水質測定地点図



（１）河川等水質測定結果

①由良川（由良川橋）- (1)

年度	流量 (m³/s)			水素イオン濃度 pH		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	—	—	—	—	7.1～7.8	0/12
18年度	—	—	—	—	7.1～7.6	0/12
19年度	—	—	—	—	7.2～7.6	0/12
20年度	—	—	—	—	7.1～7.7	0/12
21年度	—	—	—	—	7.3～7.6	0/12
22年度	—	—	—	—	7.2～7.7	0/12
23年度	—	—	—	—	7.0～7.9	0/12
24年度	—	—	—	—	7.2～7.8	0/12
25年度	—	—	—	—	7.3～7.7	0/12
26年度	—	—	—	—	7.4～7.9	0/12

年度	生物化学的酸素要求量 BOD (mg/ℓ)			浮遊物質 SS (mg/ℓ)		
	平均【75%水質値】	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.6【0.6】	<0.5～1.1	0/12	6	2～17	0/12
18年度	0.6【0.6】	<0.5～0.8	0/12	4	1～8	0/12
19年度	0.6【0.5】	0.5～0.9	0/12	3	1～6	0/12
20年度	0.5【0.9】	<0.5～0.9	0/12	3	2～4	0/12
21年度	0.6【0.7】	<0.5～0.9	0/12	4	1～14	0/12
22年度	0.7【0.8】	0.5～1.0	0/12	4	1～9	0/12
23年度	0.9【0.9】	0.5～1.8	0/12	4	1～8	0/12
24年度	1.5【1.7】	0.6～5.4	2/12	4	2～7	0/12
25年度	0.9【1.1】	<0.5～1.8	0/12	3	1～6	0/12
26年度	1.4【2.1】	<0.5～4.7	4/12	4	2～9	0/12

（京都府資料より）

※ m/n ： 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、BOD欄のm/n ： 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】：毎月の水質検査の結果12個の水質値のうち、低い方から9番目の水質値です。

由良川（由良川橋）- (2)

年度	溶存酸素量 DO (mg/l)			大腸菌群数 (MPN/100ml)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	10.0	7.6～13	0/12	5,300	280～33,000	9/12
18年度	9.3	7.2～12	1/12	10,000	330～49,000	10/12
19年度	9.2	7.1～11	1/12	4,700	170～22,000	6/12
20年度	9.1	7.3～11	0/12	2,300	240～7,000	8/12
21年度	9.2	6.9～11	1/12	6,000	220～33,000	10/12
22年度	9.2	7.0～12	3/12	4,700	46～22,000	7/12
23年度	9.1	5.9～12	3/12	2,400	240～4,900	10/12
24年度	9.3	6.4～12	2/12	4,300	260～13,000	7/12
25年度	9.1	5.0～12	3/12	6,200	110～33,000	6/12
26年度	9.0	3.7～12	3/12	710	79～2,400	3/12

年度	全磷 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.050	0.037～0.062	-/6	0.54	0.70～0.97	-/6
18年度	—	—	—	—	—	—
19年度	—	—	—	—	—	—
20年度	—	—	—	—	—	—
21年度	—	—	—	—	—	—
22年度	—	—	—	—	—	—
23年度	—	—	—	—	—	—
24年度	—	—	—	—	—	—
25年度	—	—	—	—	—	—
26年度	—	—	—	—	—	—

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数
 mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。
 全磷・全窒素は平成18年度より測定なし。

由良川（由良川橋）－(3)

年度	全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.010	<0.005～0.014	-/2
18年度	<0.005	<0.005	-/4
19年度	0.003	0.002～0.004	-/4
20年度	0.003	<0.001～0.004	-/4
21年度	0.003	0.002～0.004	-/4
22年度	0.003	0.002～0.004	-/4
23年度	0.005	0.004～0.006	0/4
24年度	0.009	0.004～0.020	0/4
25年度	0.009	0.002～0.022	0/4
26年度	0.021	0.004～0.054	1/4

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

mが－の場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

②伊佐津川（相生橋）－(1)

年度	流量 (m³/s)			水素イオン濃度 pH		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	1.19	0.25～3.18	—	—	6.2～7.3	1/12
18年度	1.32	0.17～5.53	—	—	6.4～7.5	1/12
19年度	1.13	0.22～3.67	—	—	6.7～7.5	0/12
20年度	0.88	0.02～3.70	—	—	6.9～7.6	0/12
21年度	0.76	0.04～2.19	—	—	6.5～7.1	0/11
22年度	0.95	0.14～4.06	—	—	6.6～7.4	0/11
23年度	0.57	0.24～1.49	—	—	6.9～8.2	0/11
24年度	0.90	0.18～1.93	—	—	7.0～8.2	0/10
25年度	0.79	0.21～3.01	—	—	6.1～8.0	10/13
26年度	1.10	0.12～4.77	—	—	6.5～8.1	0/12

年度	生物化学的酸素要求量 BOD (mg/ℓ)			浮遊物質 SS (mg/ℓ)		
	平均【75%水質値】	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	1.2【1.6】	0.7～1.8	0/12	2	<1～5	0/12
18年度	1.0【1.3】	<0.5～1.6	0/12	2	<1～6	0/12
19年度	1.3【1.1】	<0.5～6.4	1/12	1	<1～3	0/12
20年度	0.9【1.2】	<0.5～1.7	0/12	2	<1～3	0/12
21年度	1.0【1.2】	<0.5～2.9	1/11	2	<1～4	0/11
22年度	0.6【0.8】	<0.5～1.1	0/11	5	<1～28	1/11
23年度	0.8【0.8】	<0.5～2.1	1/11	1	<1～5	0/11
24年度	0.7【0.8】	<0.5～0.9	0/10	2	<1～5	0/10
25年度	1.0【0.7】	<0.5～4.9	1/12	2	<1～5	0/12
26年度	0.6【0.6】	<0.5～1.1	0/12	1	<1～3	0/12

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、BOD欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】：毎月の水質検査の結果12個の水質値のうち、低い方から9番目の水質値です。

伊佐津川（相生橋）- (2)

年度	溶存酸素量 DO (mg/l)			大腸菌群数 (MPN/100ml)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	10	8.2～12	0/12	15,000	13,000～33,000	12/12
18年度	10	6.7～12	1/12	8,100	1,100～22,000	12/12
19年度	10	8.4～12	0/12	8,600	230～17,000	11/12
20年度	10	8.0～11	0/12	16,000	4,900～49,000	12/12
21年度	10	8.3～15	0/11	32,000	1,300～110,000	11/11
22年度	9.7	7.4～14	1/11	21,000	3,300～70,000	11/11
23年度	9.2	7.6～11	0/11	28,000	2,300～130,000	11/11
24年度	9.7	6.1～14	2/10	14,000	790～33,000	9/10
25年度	10	9.1～13	0/12	56,000	490～330,000	10/12
26年度	10	8.1～12	0/12	15,000	460～110,000	10/12

年度	全磷 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.020	0.008～0.032	-/4	0.67	0.40～1.0	-/4
18年度	0.049	0.015～0.12	-/4	0.67	0.62～0.73	-/4
19年度	0.035	0.012～0.081	-/4	0.98	0.82～1.4	-/4
20年度	0.024	0.010～0.053	-/4	0.71	0.49～0.89	-/4
21年度	0.022	0.012～0.027	-/3	0.60	0.55～0.64	-/3
22年度	0.030	0.017～0.053	-/4	0.66	0.42～0.85	-/4
23年度	0.025	0.010～0.058	-/4	0.67	0.55～0.87	-/4
24年度	0.033	0.023～0.043	-/2	0.65	0.50～0.80	-/2
25年度	0.043	0.014～0.088	-/4	0.61	0.44～0.98	-/4
26年度	0.027	0.012～0.057	-/4	0.34	0.26～0.45	-/4

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

伊佐津川（相生橋）－(3)

年度	全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.007	<0.005～0.012	-/12
18年度	0.009	<0.005～0.026	-/12
19年度	0.003	<0.001～0.013	-/12
20年度	0.002	<0.001～0.005	-/12
21年度	0.003	0.001～0.008	-/11
22年度	0.004	0.002～0.007	-/11
23年度	0.005	0.001～0.019	-/11
24年度	0.004	<0.001～0.004	-/10
25年度	0.004	<0.001～0.007	-/2
26年度	0.001	<0.001～0.001	-/2

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

mが－の場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

③河辺川（第一河辺川橋）- (1)

年度	流量 (m³/s)			水素イオン濃度 pH		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.40	0.02～1.15	—	—	6.7～7.6	0/11
18年度	0.29	0.06～0.53	—	—	7.1～7.7	0/11
19年度	0.38	0.07～1.19	—	—	6.8～7.5	0/12
20年度	0.23	0.03～0.75	—	—	7.1～7.5	0/12
21年度	0.23	0.01～0.53	—	—	6.7～7.4	0/10
22年度	0.42	0.03～1.50	—	—	6.6～7.7	0/12
23年度	0.23	0.05～0.70	—	—	7.2～8.9	1/12
24年度	0.19	0.03～0.39	—	—	7.1～8.3	0/11
25年度	0.31	0.04～1.15	—	—	6.3～7.9	1/12
26年度	0.41	0.04～1.44	—	—	6.7～7.7	0/9

年度	生物化学的酸素要求量 BOD (mg/ℓ)			浮遊物質 SS (mg/ℓ)		
	平均【75%水質値】	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	1.3【1.7】	<0.5～4.0	1/11	2	<1～4	0/11
18年度	0.9【1.0】	0.5～1.8	0/11	2	<1～12	0/11
19年度	0.8【0.7】	<0.5～2.9	1/12	3	<1～9	0/12
20年度	0.8【1.3】	<0.5～1.7	0/12	2	<1～5	0/12
21年度	0.8【0.8】	<0.5～1.7	0/10	2	<1～4	0/10
22年度	0.6【0.7】	<0.5～1.0	0/12	3	<1～13	0/12
23年度	0.6【0.6】	<0.5～1.4	0/12	1	<1～2	0/12
24年度	0.7【0.8】	<0.5～1.2	0/11	3	<1～13	0/11
25年度	0.6【0.5】	<0.5～0.9	0/12	2	<1～6	0/12
26年度	0.5【<0.5】	<0.5～0.8	0/9	1	<1～2	0/9

（京都府資料より）

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、BOD欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】：毎月の水質検査の結果12個の水質値のうち、低い方から9番目の水質値です。

河辺川（第一河辺川橋）- (2)

年度	溶存酸素量 DO (mg/l)			大腸菌群数 (MPN/100ml)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	10	9.0～12	0/11	3,300	220～7,900	5/11
18年度	10	8.5～12	0/11	34,000	70～330,000	6/11
19年度	10	8.7～12	0/12	9,300	78～54,000	9/12
20年度	10	8.3～12	0/12	3,000	280～13,000	6/12
21年度	9.9	7.3～14	1/10	23,000	790～49,000	9/10
22年度	9.8	6.8～12	2/12	27,000	130～170,000	10/12
23年度	9.9	8.5～12	0/12	11,000	490～49,000	10/12
24年度	9.9	6.8～12	2/11	7,400	330～33,000	10/12
25年度	10	8.5～13	0/12	17,000	490～49,000	8/12
26年度	11	8.9～12	0/9	15,000	790～49,000	8/9

年度	全磷 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.021	0.010～0.034	-/3	0.50	0.43～0.61	-/3
18年度	0.014	0.008～0.024	-/3	0.45	0.32～0.55	-/3
19年度	0.075	0.018～0.23	-/4	0.55	0.46～0.69	-/4
20年度	0.013	0.005～0.019	-/4	0.57	0.35～0.75	-/4
21年度	0.016	0.009～0.020	-/3	0.38	0.33～0.41	-/3
22年度	0.018	0.006～0.036	-/4	0.48	0.33～0.73	-/4
23年度	0.015	0.009～0.029	-/4	0.38	0.29～0.44	-/4
24年度	0.009	0.006～0.014	-/3	0.31	0.28～0.34	-/3
25年度	0.017	0.006～0.037	-/4	0.32	0.26～0.36	-/4
26年度	0.009	0.007～0.010	-/3	0.24	0.21～0.26	-/3

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数
mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

河辺川（第一河辺川橋）- (3)

年度	全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.010	<0.005～0.046	-/11
18年度	0.006	<0.005～0.016	-/11
19年度	0.002	<0.001～0.004	-/12
20年度	0.003	0.001～0.010	-/12
21年度	0.003	0.001～0.008	-/10
22年度	0.002	0.001～0.004	-/12
23年度	0.003	<0.001～0.008	-/12
24年度	0.003	<0.001～0.005	-/11
25年度	0.002	<0.001～0.002	-/2
26年度	<0.001	<0.001	-/1

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

mが－の場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

④高野川（新橋）- (1)

年度	流量 (m³/s)			水素イオン濃度 pH		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	—	—	—	—	6.5～7.0	-/6
18年度	—	—	—	—	6.4～7.1	-/6
19年度	—	—	—	—	6.8～7.4	-/6
20年度	—	—	—	—	7.1～7.3	-/6
21年度	—	—	—	—	6.9～7.1	-/3
22年度	—	—	—	—	6.9～7.1	-/4
23年度	—	—	—	—	7.0～7.2	-/4
24年度	—	—	—	—	6.6～7.6	-/4
25年度	—	—	—	—	6.5～7.0	-/4
26年度	—	—	—	—	6.8～7.1	-/4

年度	生物化学的酸素要求量 BOD (mg/ℓ)			浮遊物質 SS (mg/ℓ)		
	平均【75%水質値】	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	2.5【3.1】	1.7～3.6	-/6	3	2～5	-/6
18年度	2.4【3.0】	1.4～3.6	-/6	5	2～9	-/6
19年度	1.7【1.7】	0.7～4.4	-/6	3	1～5	-/6
20年度	1.7【2.2】	1.1～2.2	-/6	3	1～8	-/6
21年度	1.1【1.8】	0.7～1.8	-/3	2	<1～5	-/3
22年度	1.0【1.1】	0.8～1.1	-/4	3	1～4	-/4
23年度	0.8【0.6】	0.5～1.3	-/4	2	<1～3	-/4
24年度	1.1【1.1】	0.7～1.4	-/4	2	1～2	-/4
25年度	0.7【0.7】	<0.5～1.0	-/4	2	1～3	-/4
26年度	0.7【0.5】	<0.5～1.3	-/4	2	1～2	-/4

（京都府資料より）

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、BOD欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】：毎月の水質検査の結果12個の水質値のうち、低い方から9番目の水質値です。

平成22年度以降は測定が4回のため、低い方から3番目の水質値です。

高野川（新橋）- (2)

年度	溶存酸素量 DO (mg/l)			大腸菌群数 (MPN/100ml)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	7.7	4.3～10	-/6	83,000	3,300～240,000	-/6
18年度	7.5	5.7～10	-/6	36,000	4,900～94,000	-/6
19年度	7.9	6.4～11	-/6	13,000	330～24,000	-/6
20年度	8.6	6.8～11	-/6	36,000	3,300～170,000	-/6
21年度	8.3	4.9～14	-/3	34,000	3,300～49,000	-/3
22年度	8.9	7.5～12	-/4	48,000	13,000～79,000	-/4
23年度	7.9	6.4～9.9	-/4	37,000	4,900～110,000	-/4
24年度	7.8	6.5～9.6	-/4	55,000	4,900～170,000	-/4
25年度	8.0	6.1～10	-/4	87,000	3,300～330,000	-/4
26年度	8.4	6.6～11	-/4	36,500	4,900～79,000	-/4

年度	全磷 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.073	0.031～0.12	-/4	1.0	0.86～1.2	-/4
18年度	0.052	0.011～0.097	-/4	0.80	0.68～0.86	-/4
19年度	0.052	0.045～0.068	-/4	0.90	0.68～1.1	-/4
20年度	0.043	0.023～0.061	-/4	0.79	0.73～0.86	-/4
21年度	0.066	0.022～0.110	-/3	0.69	0.60～0.74	-/3
22年度	0.049	0.032～0.061	-/4	0.90	0.69～1.4	-/4
23年度	0.042	0.028～0.048	-/4	0.63	0.56～0.73	-/4
24年度	0.044	0.031～0.056	-/4	0.65	0.53～0.83	-/4
25年度	0.043	0.011～0.065	-/4	0.58	0.51～0.70	-/4
26年度	0.039	0.027～0.062	-/4	0.45	0.42～0.46	-/4

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

高野川（新橋）－(3)

年度	全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.016	<0.005～0.031	-/4
18年度	0.013	<0.005～0.025	-/4
19年度	0.007	0.004～0.010	-/4
20年度	0.005	0.002～0.006	-/4
21年度	0.006	<0.001～0.006	-/3
22年度	0.006	0.004～0.008	-/4
23年度	0.003	0.002～0.005	-/4
24年度	0.004	0.002～0.007	-/4
25年度	0.002	0.002	-/2
26年度	0.004	0.003～0.005	-/2

（京都府資料より）

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

mが－の場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

⑤与保呂川（桜橋）- (1)

年度	流量 (m³/s)			水素イオン濃度 pH		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.31	0.03～0.68	—	—	6.7～7.6	-/6
18年度	0.28	0.04～0.90	—	—	7.0～7.5	-/6
19年度	0.39	0.15～0.76	—	—	6.9～7.5	-/6
20年度	0.12	0.00～0.26	—	—	7.1～7.4	-/6
21年度	0.10	0.02～0.20	—	—	6.8～7.0	-/3
22年度	0.27	0.02～0.47	—	—	6.7～8.0	-/4
23年度	0.16	0.04～0.25	—	—	7.3～7.9	-/4
24年度	0.23	0.08～0.42	—	—	7.0～8.0	-/4
25年度	0.21	0.03～0.63	—	—	6.7～8.1	-/4
26年度	0.23	0.03～0.71	—	—	7.0～7.9	-/4

年度	生物化学的酸素要求量 BOD (mg/ℓ)			浮遊物質 SS (mg/ℓ)		
	平均【75%水質値】	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	1.4【1.9】	0.8～2.0	-/6	3	<1～6	-/6
18年度	1.4【1.8】	0.9～2.6	-/6	4	2～6	-/6
19年度	1.0【1.0】	0.5～2.7	-/6	1	1～2	-/6
20年度	1.1【1.5】	0.6～1.9	-/6	2	<1～5	-/6
21年度	1.0【1.6】	<0.5～1.6	-/3	2	<1～5	-/3
22年度	0.8【0.8】	0.5～1.0	-/4	4	1～8	-/4
23年度	0.7【0.7】	<0.5～0.9	-/4	1	<1～2	-/4
24年度	0.7【0.6】	0.5～1.0	-/4	1	<1～2	-/4
25年度	0.6【0.6】	<0.5～0.8	-/4	4	<1～13	-/4
26年度	0.6【<0.5】	<0.5～0.8	-/4	1	<1～2	-/4

（京都府資料より）

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、BOD欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】：毎月の水質検査の結果12個の水質値のうち、低い方から9番目の水質値です。

平成12年度以降は測定が6回のため、低い方から5番目の水質値です。

与保呂川（桜橋）- (2)

年度	溶存酸素量 DO (mg/l)			大腸菌群数 (MPN/100ml)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	11	8.5～13	-/6	10,000	1,700～49,000	-/6
18年度	10	8.1～12	-/6	24,000	1,100～130,000	-/6
19年度	9.9	8.4～11	-/6	3,300	330～11,000	-/6
20年度	9.8	7.4～12	-/6	6,700	1,300～14,000	-/6
21年度	8.2	4.3～13	-/3	20,000	1,700～49,000	-/3
22年度	8.2	5.2～10	-/4	28,000	1,100～79,000	-/4
23年度	8.9	6.0～11	-/4	49,000	790～170,000	-/4
24年度	8.7	4.6～10	-/4	6,300	6,300～7,900	-/4
25年度	9.4	7.4～11	-/4	21,000	790～79,000	-/4
26年度	9.7	8.8～11	-/4	10,700	1,700～17,000	-/4

年度	全磷 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.024	0.010～0.034	-/4	0.70	0.39～0.87	-/4
18年度	0.018	0.012～0.027	-/4	0.56	0.44～0.75	-/4
19年度	0.019	0.010～0.029	-/4	0.73	0.68～0.77	-/4
20年度	0.017	0.010～0.024	-/4	0.54	0.25～0.90	-/4
21年度	0.035	0.012～0.053	-/3	0.36	0.23～0.50	-/3
22年度	0.020	0.014～0.026	-/4	0.48	0.28～0.61	-/4
23年度	0.015	0.009～0.021	-/4	0.53	0.22～0.74	-/4
24年度	0.024	0.010～0.058	-/4	0.53	0.32～0.71	-/4
25年度	0.021	0.010～0.030	-/4	0.51	0.34～0.63	-/4
26年度	0.011	0.009～0.012	-/4	0.33	0.14～0.55	-/4

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

与保呂川（桜橋）- (3)

年度	全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.011	0.009～0.014	-/4
18年度	0.012	<0.005～0.018	-/4
19年度	0.004	0.001～0.007	-/4
20年度	0.004	0.001～0.007	-/4
21年度	0.005	0.001～0.010	-/3
22年度	0.008	0.006～0.009	-/4
23年度	0.003	<0.001～0.005	-/4
24年度	0.004	0.002～0.007	-/4
25年度	0.001	<0.001～0.001	-/2
26年度	0.004	0.002～0.006	-/2

（京都府資料より）

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

mが－の場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

⑩吉原入江（港橋）（下水道部測定）

年度	水素イオン濃度 pH		化学的酸素要求量 COD (mg/l)		浮遊物質 SS (mg/l)		溶存酸素量 DO (mg/l)	
	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大
17年度	7.7	7.3～8.0	1.5	0.7～2.4	6	4～6	6.9	3.6～9.2
18年度	7.9	7.5～8.5	2.2	1.2～3.8	7	5～9	7.5	5.7～9.0
19年度	7.9	7.8～8.0	2.3	1.2～2.9	11	4～30	6.5	4.9～7.6
20年度	7.8	7.5～8.0	2.3	0.6～4.5	6	4～7	5.4	2.3～9.4
21年度	7.9	7.6～8.2	2.7	2.5～3.0	5	3～7	4.8	3.4～6.4
22年度	7.9	7.8～8.0	3.0	2.8～3.3	4	2～7	4.9	2.4～6.2
23年度	7.9	7.8～8.1	2.6	1.5～3.3	6	2～11	6.1	4.9～8.0
24年度	8.0	7.8～8.2	3.4	2.6～4.2	6	4～7	5.8	2.3～8.9
25年度	8.0	7.7～8.2	2.8	1.9～3.9	5	2～7	6.1	3.9～9.4
26年度	7.4	7.1～7.7	2.3	1.4～3.3	5	4～6	5.0	3.4～6.4

年度	大腸菌群数 (MPN/100ml)		全磷 (mg/l)		全窒素 (mg/l)	
	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大
17年度	33,500	24,000～43,000	0.80	0.20～2.0	4.8	1.8～7.2
18年度	85,600	230～240,000	0.65	0.04～1.4	3.3	2.4～4.8
19年度	5,100	2,400～9,300	0.53	0.35～0.75	5.0	4.6～5.7
20年度	9,500	2,400～24,000	0.53	0.20～0.80	5.5	3.7～9.2
21年度	4,700	2,400～9,300	0.62	0.40～0.80	4.3	1.4～8.1
22年度	16,800	230～43,000	0.21	0.10～0.30	5.4	2.5～7.8
23年度	2,400	430～4,300	0.30	0.06～0.60	3.0	1.9～3.8
24年度	17,200	4,300～43,000	0.32	0.05～0.80	1.7	0.63～3.2
25年度	1,490	230～2,400	0.28	0.08～0.84	1.3	0.76～2.1
26年度	1,800	90～4,300	0.11	0.06～0.18	1.5	1.0～2.8

※ 平成12年度より年4回測定、4回の平均及び最小・最大を表示

（舞鶴市調）

※ 平成12年度、平成21年度、平成23年度は1回が測定中止のため3回の平均及び最小・最大を表示

⑪天清川（天清橋）（下水道部測定）

年度	水素イオン濃度 pH		生物化学的酸素要求量 BOD (mg/ℓ)		浮遊物質 SS (mg/ℓ)		溶存酸素量 DO (mg/ℓ)	
	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大
17年度	7.8	7.3～8.3	2.8	1.9～4.1	10	6～18	9.6	7.8～11
18年度	7.4	7.2～7.5	3.2	2.4～3.9	12	3～28	8.5	7.6～10
19年度	7.4	7.3～7.5	4.1	2.0～6.3	6	1～12	8.7	7.8～10
20年度	7.8	7.4～8.5	1.5	1.2～1.9	3	2～4	9.8	8.7～11
21年度	8.0	7.6～8.7	1.9	0.9～3.5	4	2～5	9.8	7.5～11
22年度	8.0	7.3～8.7	2.6	1.5～4.0	11	4～21	9.2	8.2～10
23年度	7.5	7.4～7.6	2.6	1.2～4.7	7	2～15	8.0	6.0～9.1
24年度	7.5	7.3～7.8	1.8	0.8～2.9	16	5～34	9.2	7.8～12
25年度	7.5	7.3～7.8	2.7	1.7～3.6	6	4～9	9.5	8.7～11
26年度	7.5	7.0～8.0	1.6	0.6～3.3	3	1～8	9.4	7.8～12

年度	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)		全磷 (mg/ℓ)		全窒素 (mg/ℓ)	
	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大
17年度	10,000	24,000～240,000	0.34	0.21～0.59	1.8	0.74～2.80
18年度	97,400	9,300～240,000	0.19	0.13～0.25	1.5	1.0～1.5
19年度	154,000	43,000～240,000	0.25	0.13～0.50	2.1	1.3～4.1
20年度	90,300	4,300～240,000	0.20	0.11～0.31	1.4	0.96～1.7
21年度	59,700	43,000～93,000	0.15	0.08～0.20	1.3	1.1～1.6
22年度	302,500	24,000～1,100,000	0.13	0.05～0.19	2.9	1.1～5.5
23年度	389,000	24,000～1,100,000	0.21	0.11～0.34	1.9	1.4～2.8
24年度	53,300	24,000～93,000	0.14	0.03～0.36	2.0	0.75～4.2
25年度	59,600	9,300～93,000	0.11	0.05～0.23	1.1	0.84～1.7
26年度	251,600	9,300～930,000	0.05	0.04～0.06	1.0	0.75～1.4

※ 平成12年度より年4回測定、4回の平均及び最小・最大を表示

(舞鶴市調)

※ 平成12年度は2回が測定中止のため2回の平均及び最小・最大を表示

※ 平成18年度、平成21年度、平成23年度は1回が測定中止のため3回の平均及び最小・最大を表示

⑫米田川（相生小橋）（下水道部測定）

年度	水素イオン濃度 pH		生物化学的酸素要求量 BOD (mg/ℓ)		浮遊物質量 SS (mg/ℓ)		溶存酸素量 DO (mg/ℓ)	
	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大
17年度	7.5	7.1～7.9	5.2	3.2～7.0	9	6～14	8.4	6.2～10
18年度	7.2	7.1～7.3	1.8	1.1～2.7	7	1～18	9.0	7.8～9.7
19年度	7.5	7.4～7.6	2.2	1.3～3.0	6	2～13	8.7	7.8～10
20年度	7.5	7.2～7.7	1.7	1.4～1.9	8	1～22	8.5	6.6～10
21年度	7.8	7.6～7.9	2.2	1.8～2.8	11	2～21	8.0	6.9～10
22年度	7.6	7.4～7.7	2.3	1.1～3.2	29	4～91	7.6	5.3～10
23年度	7.6	7.3～7.9	1.2	1.0～1.6	7	2～16	8.0	6.3～9.6
24年度	7.6	7.3～8.0	2.5	1.2～3.4	15	7～26	8.5	6.2～11
25年度	7.4	7.3～7.6	1.1	0.8～1.4	6	2～16	8.7	6.8～11
26年度	7.8	7.3～8.5	1.0	0.6～1.4	2	1～6	8.3	5.9～11

年度	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)		全磷 (mg/ℓ)		全窒素 (mg/ℓ)	
	平均	最小～最大	平均	最小～最大	平均	最小～最大
17年度	622,800	24,000～2,400,000	0.18	0.08～0.30	2.7	1.0～5.2
18年度	16,100	430～24,000	0.08	0.05～0.10	1.2	0.83～1.5
19年度	46,600	9,300～110,000	0.07	0.02～0.11	0.93	0.61～1.3
20年度	14,800	2,400～43,000	0.08	0.04～0.13	0.84	0.68～1.0
21年度	47,000	24,000～93,000	0.09	0.06～0.12	1.1	0.80～1.5
22年度	42,300	9,300～93,000	0.13	0.04～0.30	1.9	0.90～4.4
23年度	25,400	9,300～43,000	0.07	0.06～0.09	1.9	0.61～4.3
24年度	76,300	43,000～93,000	0.07	0.04～0.11	1.1	0.79～1.7
25年度	25,000	9,300～43,000	0.11	0.05～0.19	0.87	0.81～0.93
26年度	244,500	2,400～930,000	0.07	0.05～0.09	0.88	0.76～0.98

※ 平成12年度より年4回測定、4回の平均及び最小・最大を表示 (舞鶴市調)

※ 平成12年度、平成21年度、平成23年度は1回が測定中止のため3回の平均及び最小・最大を表示

(2) 舞鶴湾水質測定結果

★A. 念仏鼻地先-(1)

年度	水素イオン濃度 pH			化学的酸素要求量 COD (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均【75%水質値】	最小～最大	m/n
17年度	—	8.0～8.4	1/18	2.5【2.9】	1.9～2.9	5/6
18年度	—	7.9～8.4	3/18	2.1【2.6】	1.4～2.7	3/6
19年度	—	8.1～8.6	2/18	1.9【2.2】	0.9～3.1	3/6
20年度	—	8.1～8.6	7/18	2.7【3.4】	2.0～3.6	5/6
21年度	—	8.1～8.4	1/16	2.5【3.0】	1.9～3.1	5/6
22年度	—	8.0～8.4	6/18	2.7【3.4】	2.0～3.5	5/6
23年度	—	8.2～8.5	6/18	2.8【3.3】	2.1～4.0	6/6
24年度	—	8.0～8.5	10/18	2.8【3.1】	2.3～3.4	6/6
25年度	—	7.9～8.6	7/18	2.8【3.1】	2.2～3.7	6/6
26年度	—	8.0～8.5	7/18	2.3【2.4】	1.7～3.0	4/6

年度	溶存酸素量 DO (mg/l)			大腸菌群数 (MPN/100ml)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	8.3	5.8～10	5/18	450	4～2,400	1/6
18年度	7.9	5.2～9.8	6/18	43	2～140	0/6
19年度	8.1	5.9～10	6/18	420	2～1,700	1/6
20年度	8.3	4.9～10	4/18	1,600	2～7,900	2/6
21年度	8.9	7.0～13	5/16	250	2～790	0/6
22年度	8.4	6.4～10	4/18	3,900	13～13,000	3/6
23年度	8.2	5.6～10	5/18	4,200	13～13,000	1/6
24年度	8.0	4.9～10	4/18	2,600	79～13,000	2/6
25年度	7.1	4.1～9.4	9/18	5,700	17～33,000	1/6
26年度	7.9	5.3～10	4/15	150	23～490	0/6

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、COD欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】 : n個の日間平均値を水質のよいものから並べたとき、0.75×n番目にくる数値です。

念仏鼻地先-(2)

年度	全燐 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.025	0.021～0.028	0/6	0.25	0.12～0.34	2/6
18年度	0.011	<0.003～0.020	0/6	0.25	0.18～0.41	1/6
19年度	0.014	0.006～0.023	0/6	0.48	0.26～0.84	5/6
20年度	0.018	0.007～0.027	0/6	0.34	0.21～0.49	3/6
21年度	0.015	0.010～0.021	0/6	0.32	0.22～0.46	2/6
22年度	0.022	0.012～0.031	1/6	0.38	0.20～0.51	4/6
23年度	0.019	0.011～0.033	1/6	0.36	0.23～0.55	4/6
24年度	0.031	0.012～0.042	4/6	0.42	0.19～0.90	4/6
25年度	0.027	0.013～0.055	2/6	0.45	0.22～0.71	4/6
26年度	0.022	0.016～0.028	0/6	0.29	0.19～0.56	1/6

年度	n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)			全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	ND	ND	0/2	0.008	<0.005～0.012	-/6
18年度	ND	ND	0/2	0.009	0.005～0.013	-/6
19年度	ND	ND	0/2	0.009	0.002～0.017	-/6
20年度	ND	ND	0/2	0.006	0.005～0.007	-/6
21年度	ND	ND	0/2	0.007	0.002～0.021	-/16
22年度	ND	ND	0/2	0.006	0.001～0.013	-/18
23年度	ND	ND	0/2	0.005	0.001～0.015	-/18
24年度	ND	ND	0/2	0.004	0.002～0.010	-/18
25年度	ND	ND	0/2	0.006	0.002～0.025	-/6
26年度	ND	ND	0/2	0.001	<0.001～0.001	-/6

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、全燐・全窒素欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数
mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

※ ND : 「Not Detected (検出されない)」の略です。

★B. 檜崎地先-(1)

年度	水素イオン濃度 pH			化学的酸素要求量 COD (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均 【75%水質値】	最小～最大	m/n
17年度	—	7.9～8.4	1/18	2.2【2.3】	1.8～2.6	5/6
18年度	—	7.8～8.3	0/18	2.1【2.5】	1.3～2.7	3/6
19年度	—	8.0～8.5	2/18	1.9【2.2】	1.4～3.0	2/6
20年度	—	8.1～8.6	8/18	2.7【3.2】	1.5～3.6	5/6
21年度	—	7.9～8.3	0/18	2.3【2.7】	1.8～2.8	4/6
22年度	—	7.8～8.3	0/18	2.3【2.5】	1.9～2.9	4/6
23年度	—	7.6～8.3	1/18	2.4【2.8】	1.5～3.2	5/6
24年度	—	7.8～8.4	1/18	2.7【2.9】	2.1～3.7	6/6
25年度	—	7.2～8.5	9/18	2.6【2.7】	2.0～3.8	5/6
26年度	—	7.9～8.4	2/18	1.8【2.1】	1.4～2.5	2/6

年度	溶存酸素量 DO (mg/l)			大腸菌群数 (MPN/100ml)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	7.8	6.2～9.3	9/18	710	49～2,200	2/6
18年度	7.8	6.2～9.4	7/18	160	6.8～490	0/6
19年度	7.9	5.7～10	9/18	1,600	230～5,400	2/6
20年度	7.9	4.7～9.4	4/18	1,100	<1.8～3,300	2/6
21年度	7.9	6.2～10	7/18	240	<23～490	0/6
22年度	8.1	6.3～9.4	3/18	990	49～2,400	3/6
23年度	7.8	6.0～10	8/18	1,600	79～2,400	1/6
24年度	7.9	5.9～9.5	8/18	5,600	14～33,000	1/6
25年度	6.7	4.5～8.7	13/18	3,100	6.1～13,000	2/6
26年度	7.7	5.8～10	8/15	210	22～490	0/6

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、COD欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】 : n個の日間平均値を水質のよいものから並べたとき、0.75×n番目にくる数値です。

檜崎地先-(2)

年度	全燐 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.024	0.017～0.035	2/6	0.29	0.12～0.49	3/6
18年度	0.011	0.003～0.016	0/6	0.30	0.12～0.74	1/6
19年度	0.023	0.010～0.036	2/6	0.77	0.22～2.6	5/6
20年度	0.016	0.008～0.033	1/6	0.36	0.27～0.51	4/6
21年度	0.014	0.010～0.016	0/6	0.28	0.22～0.36	1/6
22年度	0.019	0.010～0.048	1/6	0.38	0.25～0.46	5/6
23年度	0.020	0.010～0.043	1/6	0.34	0.15～0.55	4/6
24年度	0.024	0.013～0.041	1/6	0.29	0.22～0.39	2/6
25年度	0.026	0.010～0.071	1/6	0.34	0.16～0.83	2/6
26年度	0.019	0.013～0.027	0/6	0.18	0.14～0.20	0/6

年度	n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)			全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	ND	ND	0/2	0.024	0.008～0.053	-/6
18年度	ND	ND	0/2	0.014	0.010～0.018	-/6
19年度	ND	ND	0/2	0.016	0.009～0.027	-/6
20年度	ND	ND	0/2	0.011	0.009～0.013	-/6
21年度	ND	ND	0/2	0.012	0.002～0.039	-/18
22年度	ND	ND	0/2	0.008	0.002～0.026	-/18
23年度	ND	ND	0/2	0.008	0.001～0.014	-/18
24年度	ND	ND	0/2	0.009	0.001～0.036	-/18
25年度	ND	ND	0/2	0.008	0.001～0.018	-/6
26年度	ND	ND	0/2	0.001	0.001～0.002	-/6

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、全燐・全窒素欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数
mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

※ ND : 「Not Detected (検出されない)」の略です。

★C. キンギョ鼻地先-(1)

年度	水素イオン濃度 pH			化学的酸素要求量 COD (mg/ℓ)		
	平均	最小～最大	m/n	平均 【75%水質値】	最小～最大	m/n
17年度	—	7.9～8.3	0/18	2.2【2.3】	1.6～3.0	4/6
18年度	—	7.8～8.3	0/18	1.8【2.2】	1.2～2.5	2/6
19年度	—	8.1～8.5	2/18	1.8【1.9】	1.1～2.6	1/6
20年度	—	8.2～8.6	6/18	2.5【2.7】	1.9～3.6	4/6
21年度	—	8.0～8.4	2/18	2.0【2.2】	1.7～2.3	2/6
22年度	—	7.9～8.4	3/18	2.2【2.7】	1.6～3.0	2/6
23年度	—	8.2～8.4	2/18	2.6【2.7】	2.1～3.6	6/6
24年度	—	8.1～8.5	6/18	2.3【2.4】	1.8～2.6	5/6
25年度	—	7.6～8.4	6/18	2.4【2.4】	1.8～4.1	4/6
26年度	—	8.2～8.5	4/18	1.7【2.0】	1.1～2.6	1/6

年度	溶存酸素量 DO (mg/ℓ)			大腸菌群数 (MPN/100mℓ)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	8.0	7.6～9.3	7/18	860	17～4,900	1/6
18年度	7.8	6.6～8.8	8/18	340	<1.8～1,700	1/6
19年度	8.1	6.3～10	6/18	1,300	7.8～7,900	1/6
20年度	7.9	5.8～9.5	4/18	260	<1.8～1,300	1/6
21年度	8.1	6.4～11	9/18	370	23～1,300	1/6
22年度	8.2	6.5～9.4	3/18	220	6.8～790	0/6
23年度	7.9	6.2～9.6	7/18	130	2.0～790	0/6
24年度	8.0	6.1～9.8	7/18	660	7.8～3,300	1/6
25年度	7.0	5.2～8.5	10/18	8,300	2.0～49,000	1/6
26年度	7.7	6.2～9.7	5/15	72	2.0～220	0/6

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、COD欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】 : n個の日間平均値を水質のよいものから並べたとき、0.75×n番目にくる数値です。

キングヨ鼻地先-(2)

年度	全燐 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.021	0.014～0.029	0/6	0.38	0.24～0.52	4/6
18年度	0.008	<0.003～0.016	0/6	0.22	0.15～0.31	1/6
19年度	0.013	0.008～0.024	0/6	0.62	0.16～1.6	5/6
20年度	0.015	0.008～0.023	0/6	0.37	0.23～0.55	4/6
21年度	0.012	0.004～0.019	0/6	0.30	0.18～0.41	3/6
22年度	0.012	0.007～0.017	0/6	0.25	0.16～0.34	1/6
23年度	0.012	0.009～0.015	0/6	0.34	0.18～0.78	3/6
24年度	0.014	0.011～0.018	0/6	0.20	0.16～0.29	0/6
25年度	0.024	0.009～0.080	1/6	0.34	0.15～0.92	2/6
26年度	0.016	0.011～0.018	0/6	0.16	0.12～0.22	0/6

年度	n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)			全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	ND	ND	0/2	0.008	<0.005～0.013	-/6
18年度	ND	ND	0/2	0.009	0.006～0.013	-/6
19年度	ND	ND	0/2	0.011	0.002～0.016	-/6
20年度	ND	ND	0/2	0.006	0.003～0.010	-/6
21年度	ND	ND	0/2	0.009	0.001～0.028	-/18
22年度	ND	ND	0/2	0.007	0.001～0.016	-/18
23年度	ND	ND	0/2	0.008	<0.001～0.036	-/18
24年度	ND	ND	0/2	0.005	0.001～0.013	-/18
25年度	ND	ND	0/2	0.004	0.001～0.009	-/6
26年度	ND	ND	0/2	0.001	<0.001～0.001	-/6

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、全燐・全窒素欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数
mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

※ ND : 「Not Detected (検出されない)」の略です。

※ 全亜鉛は16年度より測定しています。

★D. 恵比須埼地先-(1)

年度	水素イオン濃度 pH			化学的酸素要求量 COD (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均 【75%水質値】	最小～最大	m/n
17年度	—	8.0～8.4	1/18	2.5【2.8】	2.0～2.9	4/6
18年度	—	7.8～8.3	0/18	2.1【2.5】	1.2～3.1	3/6
19年度	—	8.1～8.7	3/18	2.0【2.4】	1.1～2.8	3/6
20年度	—	8.1～8.6	7/18	2.6【2.9】	2.0～3.7	5/6
21年度	—	7.7～8.4	2/17	2.3【2.6】	1.8～2.9	4/6
22年度	—	8.0～8.4	4/18	2.4【2.8】	2.0～3.0	5/6
23年度	—	8.2～8.5	6/18	2.7【2.9】	2.0～4.6	4/6
24年度	—	8.1～8.5	7/18	2.5【2.7】	2.1～3.0	6/6
25年度	—	7.7～8.6	7/18	2.8【3.2】	2.2～4.1	6/6
26年度	—	8.2～8.5	4/18	2.1【2.2】	1.5～2.9	4/6

年度	溶存酸素量 DO (mg/l)			大腸菌群数 (MPN/100ml)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	8.4	6.9～10	4/18	860	4.5～4,900	1/6
18年度	7.8	5.9～9.2	5/18	20	<1.8～70	0/6
19年度	8.5	6.0～11	3/18	1,000	6.8～4,900	2/6
20年度	8.3	5.6～11	4/18	1,200	2～7,000	1/6
21年度	8.6	7.1～12	6/17	180	17～460	0/6
22年度	8.4	6.1～9.9	3/18	710	11～2,400	2/6
23年度	8.0	6.1～10	7/18	190	4.5～2,400	0/6
24年度	8.1	5.9～9.9	7/18	1,100	<1.8～4,900	2/6
25年度	7.3	4.7～9.4	8/18	2,300	7.8～13,000	1/6
26年度	7.9	5.8～9.8	4/15	76	<1.8～330	0/6

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、COD欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数

※ 【75%水質値】 : n個の日間平均値を水質のよいものから並べたとき、0.75×n番目にくる数値です。

恵比須埼地先-(2)

年度	全磷 (mg/l)			全窒素 (mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	0.022	0.016～0.034	1/6	0.33	0.20～0.47	4/6
18年度	0.009	<0.003～0.014	0/6	0.19	0.10～0.29	0/6
19年度	0.015	0.004～0.032	1/6	0.51	0.14～1.2	4/6
20年度	0.010	0.004～0.014	0/6	0.31	0.17～0.43	4/6
21年度	0.012	<0.003～0.019	0/6	0.37	0.14～0.70	3/6
22年度	0.014	0.006～0.019	0/6	0.32	0.18～0.55	2/6
23年度	0.014	0.010～0.021	0/6	0.35	0.18～0.51	4/6
24年度	0.016	0.009～0.024	0/6	0.23	0.18～0.35	1/6
25年度	0.024	0.007～0.078	1/6	0.38	0.17～0.79	3/6
26年度	0.017	0.011～0.020	0/6	0.20	0.17～0.30	0/6

年度	n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)			全亜鉛(mg/l)		
	平均	最小～最大	m/n	平均	最小～最大	m/n
17年度	ND	ND	0/2	0.009	<0.005～0.018	-/6
18年度	ND	ND	0/2	0.008	<0.005～0.012	-/6
19年度	ND	ND	0/2	0.011	<0.001～0.019	-/6
20年度	ND	ND	0/2	0.006	0.003～0.006	-/6
21年度	ND	ND	0/2	0.008	0.001～0.022	-/17
22年度	ND	ND	0/2	0.006	0.002～0.014	-/18
23年度	ND	ND	0/2	0.005	0.001～0.014	-/18
24年度	ND	ND	0/2	0.004	0.001～0.011	-/18
25年度	ND	ND	0/2	0.004	<0.001～0.011	-/6
26年度	ND	ND	0/2	0.001	<0.001～0.001	-/6

(京都府資料より)

※ m/n : 環境基準に適合しない検体数／総検体数

ただし、全磷・全窒素欄のm/n : 環境基準に不適合の日数／総測定日数
mがーの場合は、その項目に環境基準の適用がないことを意味します。

※ ND : 「Not Detected (検出されない)」の略です。